

GS01 特別支援教育

日 nich: 8 日 (金) 開始: 13:00 終了: 14:30

座長: 伊藤 祐子 (都立大学)

番号	演題	氏名	所属
1	発達障害児の療育を支援する環境デザインの提案－強化段ボールを使ったカームダウンスペース－	繁成 剛	東洋大学 産学協同教育センター
2	エド・ロバーツ・キャンパスにみるユニバーサルデザイン・インクルーシブ教育環境に向けて－	植田 瑞昌	日本大学理工学部
3	絵本の読み聞かせにおける手話練習と触察教材の作成：特別支援学校と大学との協働プロジェクト	高原 光恵	鳴門教育大学
4	生成AIを利用した支援機器情報提供のためのチャットボットの開発	関 裕基	早稲田大学 大学院人間科学研究科
5	プログラミング学習における身近な問題解決	林 昌弘	愛知県立小牧特別支援学校
6	児童生徒の「遊び」に基づいた自立活動の授業の展開について	木澤 健司	東京都立花畠学園

OS01 車いす車両乗車時の安全性

日 nich: 8 日 (金) 開始: 13:00 終了: 14:50

座長: 清水 弘子 (かながわ移動ネット)

番号	演題	氏名	所属
1	車いすの車両乗車時の安全確保について	清水 弘子	認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
2	車いすの車両送迎の現状	石山 典代	認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
3	シーティングエンジニアから見た車椅子の車両乗車の問題	久内 純子	青天株式会社
4	ティルト・リクライニング型車椅子での福祉車両利用時にシートベルトが非接触となる事象の報告	石濱 裕規	医療法人社団永生会
5	ユニバーサルデザインタクシー車いす旅客運送課題について	横関 秀樹	神奈川トヨタ自動車株式会社
6	車いす車両乗車時の安全性確保のためのクッション及びシートの開発	大城 徳彦	橋本エンジニアリング株式会社
7	介護タクシー業界の将来展望：超高齢社会における変革と持続可能性への道筋	吉原 浩一	NPO法人 せたがや移動ケア

GS02 コミュニケーション／インターフェース

日 nich: 8 日 (金) 開始: 15:00 終了: 16:20

座長: 渡辺 崇史 (日本福祉大学)

番号	演題	氏名	所属
1	機械学習ソリューションMediaPipeを利用した下顎トラッキングによるボイントティングデバイスの開発（第3報）	小林 博光	総合せき損センター 医用工学研究室
2	パソコン用スイッチインターフェースの開発	藤澤 義範	長野工業高等専門学校
3	iOS専用スイッチ接続アダプタの開発	松尾 光晴	アクセスエール株式会社
4	ジェスチャ表現を用いた物探し支援システムの開発－特定物体認識機能を用いた物体登録及び認識機能の実装－	阿部 壮男	芝浦工業大学
5	電気や冷感などの不快な刺激を用いた情報提示デバイスの試作	大恵 克俊	日本文理大学 工学部 機械電気工学科

OS02 受傷40年、重度頸損者が楽しく暮らした10の理由

日 nich: 8 日 (金) 開始: 15:00 終了: 16:20

座長: 井上 剛伸 (国リハ)

番号	演題	氏名	所属
1	受傷40年、重度頸損者が自由に暮らした10の理由	駄澤 孝	(有) セカンドステージ

GS03 まちづくり

日にち: 9日 (土) 開始: 9:30 終了: 10:30

座長: 鈴木 基恵 (横浜総合リハ)

番号	演題	氏名	所属
1	片麻痺者の浴室環境整備の症例	下田 誠	名古屋市総合リハビリテーションセンター
2	頸髄損傷者の災害および避難生活に対する意識	金井 謙介	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科
3	視覚制限下における障害物回避後の進路逸脱に関する予備的研究	豊田 航	近畿大学 生物理工学部 人間環境デザイン工学科
4	車いでの在宅生活を支援する福祉住環境設計－暮らしの変化に柔軟に寄り添う建築と福祉用具－	天米 穂	株式会社神崎工務店

IS01 コミュニケーション／姿勢保持

日にち: 9日 (土) 開始: 9:00 終了: 10:30

座長: 田中 芳則 (なごや福祉用具プラザ)

番号	演題	氏名	所属
1	ウェアラブルカメラを利用した眼球運動によるスイッチ操作支援システム	伊藤 和幸	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所
2	MediaPipeの顔ランドマーク検出機能を利用して顔面内の動きを自動的に検出するアプリの開発	伊藤 和幸	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所
3	学校での腹臥位保持装置製作の現状及び活用効果について	諏訪 勝己	NPO法人ケアさぼーと研究所
4	子ども向け室内用大型遊具のインクルーシブバージョンの開発支援	中村 詩子	横浜市総合リハビリテーションセンター
5	一般の方や生成AIと楽しく会話を行える重度障がい者用視線入力システム	竹原 一行	一般社団法人日本ALS協会愛知県支部
6	重度運動機能障害者のためのジェスチャインタフェース (AAGI) 普及への取組み	中山 剛	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所
7	情報通信機器の操作を支援するための追加インタフェースの試作	上野 忠浩	横浜市総合リハビリテーションセンター 研究開発課

GS04 バイオメカニクス

日にち: 9日 (土) 開始: 10:40 終了: 12:00

座長: 勝平 純司 (東洋大学)

番号	演題	氏名	所属
1	床走行式リフト移乗時介助における熟練者の操作プロセスと体幹の動きに関する検討	太田 智之	兵庫県立 福祉のまちづくり研究所 ロボットリハビリテーションセンター課
2	弾性式歩行補助具を使用した歩行中の下肢筋活動への影響	相馬 俊雄	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
3	アバター動画を用いた姿勢推定AI技術の検証	本田 雄一郎	大阪産業大学 システム工学部 システム工学科
4	上肢障害者用トレーニング補助具開発の検討	長束 晶夫	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ
5	筋電義手使用映像の自動アノテーションのための両手動作の抽出	大西 謙吾	東京電機大学 理工学部 電子情報・生体医工学系

OS03 支援機器の開発・利活用の促進に向けた取り組み

日にち: 9日 (土) 開始: 10:40 終了: 12:20

座長: 井上 剛伸 (国リハ)

番号	演題	氏名	所属
1	障害者のための自立支援機器の開発・普及に向けた取組み	中村 美緒	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室
2	知的障害者の支援機器に関するニーズの抽出－当事者、家族、支援者を対象としたアンケート調査－	宇田川 竜吾	公益財団法人テクノエイド協会
3	支援機器開発におけるコーディネーター育成プログラム－多職種連携を促進する推進役の育成と役割－	二瓶 美里	東京大学 大学院情報理工学系研究科
4	製品化した支援機器の普及促進に資するポイント－販売継続に関する実態調査結果より－	城岡 秀彦	株式会社日本総合研究所
5	支援機器の開発・利活用を促進する拠点構築	渡邊 憲一	横浜市総合リハビリテーションセンター
6	支援機器の開発・利活用を促進する人材育成プログラム	井上 剛伸	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所

GS05 乗り物

日 nich: 9 日 (土) 開始: 13:00 終了: 14:20

座長: 片石 任 (フロンティア)

番号	演題	氏名	所属
1	有効視野に及ぼす前照灯光源の影響	仮屋 孝二	第一工科大学 工学部 機械システム工学科
2	車いす移送介助時の乗車者の不安による、手の握り動作を検出する装置に関する研究	池田 怜生	済生会 湘南平塚病院
3	ハンドル型電動車いす（シニアカー）の試用体験と安全操作に関する検討	澤田 有希	帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科
4	車いす利用者の公共交通機関へのアクセシビリティに関する研究：移動時間の実態と情報提供の課題	島田 茉実	明豊ファシリティワークス株式会社
5	車いす利用者から見たデンマークの公共交通機関に関する一考察	島田 茉実	明豊ファシリティワークス株式会社

IS02 自助具／バイオメカニクス／まちづくりなど

日 nich: 9 日 (土) 開始: 13:00 終了: 14:30

座長: 勝平 純司 (東洋大学)

番号	演題	氏名	所属
1	肢体不自由のある子どもを対象とした風を感じるおもちゃの試作とその評価	尾澤 翔太	横浜市総合リハビリテーションセンター
2	白杖歩行における白杖の長さに応じた死角面積と体積の変化	矢野 愛美	東京電機大学大学院 理工学研究科 電子工学専攻
3	関節の“動きにくさ”をどう測る？ADLに影響する膝関節強直を物理モデルで定量評価	富永 敬三	中部大学 臨地実習推進部 理学療法実習センター
4	介助動作の定量化に向けた簡易計測システムの開発と妥当性の検証	立川 正真	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
5	片松葉杖歩行用部分荷重課題訓練システムの開発-インソール型圧力センサを用いたCOP推定と評価-	平田 裕一	芝浦工業大学 理工学研究科 システム理工学専攻
6	障がい児・生徒の学習支援に向けた3Dプリンター活用の実践－バングラデシュのインクルーシブスクールとの協働	葛西 敦貴	神戸学院大学 総合リハビリテーション学研究科 社会リハビリテーション学専攻
7	揺れる稻穂型歩行支援機の実用化実験	鈴木 光久	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
8	福祉住環境設計支援ソフトの開発	江原 喜人	総合せき損センター

GS06 姿勢保持/自助具

日 nich: 9 日 (土) 開始: 14:40 終了: 16:00

座長: 中村 詩子 (横浜総合リハ)

番号	演題	氏名	所属
1	重症心身障害児者における側臥位保持装置～作製における技術・工夫～	舟木 裕人	北海道療育園 補装具事業所 つーるばっくす
2	重症心身障害児者における側臥位保持装置～理学療法士の視点～	池田 菜摘	北海道療育園 リハビリテーション科
3	ガラス繊維配合ゴムの物理的脆弱性に関する研究	香田 潤	株式会社つえくつ
4	頸髄損傷者のための自己導尿カテーテル用自助具の製作	志智 直人	吉備高原医療リハビリテーションセンター
5	自助具箸の補助部品の考案 - 第2報 -	一木 愛子	神奈川県総合リハビリテーションセンター

OS04 能登半島地震へのそぞう的復興

日 nich: 9 日 (土) 開始: 14:40 終了: 16:00

座長: 志村 健一 (東洋大学)

番号	演題	氏名	所属
1	福祉社会における新たな価値の創発と支援システムの構築	志村 健一	東洋大学福祉社会開発研究センター
2	アザラシ型ロボット・パロは大学生の孤独を癒すか～動物型ロボットを活用した仮設住宅での茶話会の提案～	佐藤 亜樹	東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科
3	東洋大学における能登半島地震への対応	高山 直樹	東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科

GS07 コミュニケーション

日 nich: 10日 (日) 開始: 9:30 終了: 10:30

座長: 上野 忠浩 (横浜総合リハ)

番号	演題	氏名	所属
1	重症頭部外傷患者に対する拡大代替コミュニケーション(AAC)獲得事例	石塚 誠一	医療法人社団 誠馨会 自動車事故対策機構 千葉療護センター
2	スマートフォンによるアプリ操作での環境制御 ～今ある資源の活用～	田中 芳則	なごや福祉用具プラザ
3	振戦を伴う重度障害者向け空気圧スイッチの試作	安齋 敏太	特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワーク 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター
4	筋萎縮性側索硬化症者の意思伝達装置の導入と継続利用に関する傾向と課題 -補装具装用訓練等支援事業を通して-	北野 義明	石川県リハビリテーションセンター

OS05 リハ職とエンジニアとの協働を目指して

日 nich: 10日 (日) 開始: 9:30 終了: 10:30

座長: 芝崎 伸彦 (狭山神経内科病院)

番号	演題	氏名	所属
1	地域における神経難病支援の現状	芝崎 伸彦	狭山神経内科病院 リハビリテーション科
2	企業からみた導入支援・フォローアップの実際	西村 英亮	株式会社モリトー
3	歩行支援機器の現状: 重度神経難病者の支援に関する議論へ向けて	白銀 晓	国立障害者リハビリテーションセンター研究所
4	筋萎縮性側索硬化症の重度症例に対する歩行支援の臨床実践	今井 哲也	狭山神経内科病院 リハビリテーション科

GS08 社会参加/QOL

日 nich: 10日 (日) 開始: 10:45 終了: 12:00

座長: 廣島 拓也 (花はたりハ病院)

番号	演題	氏名	所属
1	医療施設や支援学校に訪問し身体的芸術活動の体験と発表の機会を提供・充実させる活動報告	松田 靖史	川村義肢(株)開発部K-Tech・大阪大学大学院BE専攻
2	高位頸髄損傷者における経肛門的洗腸療法の実施例	土田 浩敬	兵庫頸髄損傷者連絡会
3	小学3年生向けほじょ犬体験教室開催報告	剣持 悟	川村義肢株式会社
4	障害児にも配慮した誰もが学び楽しめる「動物を介した社会教育施設」の研究 第4報 ～動物園の取り組み事例～	植田 瑞昌	前 国立障害者リハビリテーションセンター (日本大学)
5	頸髄損傷者の介護リフトのある旅	鈴木 太	愛媛頸髄損傷者連絡会

GS09 車いす

日 nich: 10日 (日) 開始: 10:45 終了: 11:45

座長: 中村 俊哉 (兵庫福まち研)

番号	演題	氏名	所属
1	脳卒中片麻痺者や大腿部頸部骨折者の車いす移乗準備をナビゲーションする車いすアドオンキットのユーザビリティ評価	出口 弦舞	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科
2	エアバッグセンサを用いた手動車いす使用者のための転倒・転落防止装置の開発	難波 邦治	吉備高原医療リハビリテーションセンター
3	電動車椅子におけるチンコントロール用ジョイスティックの試作評価	松田 健太	神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部
4	車椅子用ユニバーサルアタッチメントの開発 -フレーム用アタッチメントの市販モデル設計 -	渡辺 崇史	日本福祉大学 工学部